

未来を拓く子ども

～やさしく・かしこく・たくましく～

豊富町 複式教育研究部会

1 研究主題

「自ら課題を見つけ、筋道を立てて考え、解決し、表現できる子どもの育成」～各教科における主体的対話的で深い学びを通して～

【目指す子ども像】

主体的な子ども

学習の見通しを立て、学習したことを振り返ったりする子ども

対話的に学ぶ子ども

自分や他者の考えを伝え合い、深め合い、表現できる子ども

深く学ぶ子ども

教科の特性に応じた見方、考え方を働かせて考える子ども

2 オンライン学習など ICT の活用状況

今年度豊富町に GIGA スクール構想一人一台情報端末として、「ipad」が配備された。本校では4月より準備を進め、5月の連休明けから本格活用をしている。要点は以下の通り。

① 町教委から割り振られたアカウントによって管理している。端末は「文房具として」毎日持ち帰らせている。

② Google classroomをプラットフォームに、同時双方向オンライン授業をはじめ、毎朝の健康観察、課題の配布・回収・添削、児童生徒の作品配信、連絡をデジタルで行っている。

③ AI教材「Qubena」を同窓会・町内会・保護者の資金支援で導入した。月・水・金の朝の帯タイムを「キュビナタイム」として設定し、5教科知識理解分野の復習及び先行学習に取り組んでいる。

④ その他黒板アプリ「kocri」や「jamboard」

などタブレット機能を活かした授業を日々行っている。



3 地域の自然素材を活かした教育活動

本校は森の中の学校である。兜沼があり牧場があり、畑がある。本校の方針としてできるだけ外に子どもたちを連れ出し、虫や動物、植物の実物に触れさせ、そこから「問い」を持たせるようにしている。本校の児童生徒は四季ごとにどこに何が咲くか、実がなるか知っている。

4 今後の方向性

本校は今年度より小規模特認校に指定され、通常転校と合わせ豊富町内はもとより町外からも転入生があり、昨年度8名から17名と増え、これからも続く見込みである。地域・保護者はとても協力的で「地域の学校」という意識を強くもってくれている。令和4年度はその基盤の下、本校の強みをさらに魅力化させるため、「小中併置型」から「小中一貫型」の学校運営に転換させる。

